



Miyagi Environmental Life
Out-reach Network



MELON創立10周年企画進行中！

10周年記念フォーラム「山・里・海・空・子ども」開催

MELON 創立 10 周年を記念して「山・里・海・空・子ども」をテーマとしたフォーラムを開催します。テーマごとに参加型のワークショップ的な企画を基本とし、広がりのある楽しいフォーラムにしたいと思っています。ぜひご参加ください！お申し込み・お問い合わせは MELON 事務局までご連絡ください。

日 時：2003 年 9 月 6 日（土）9：00～16：00
 場 所：午前／各テーマごとのフィールド（イベント内容を参照）
 午後／エルパーク仙台（定禅寺通り 141 ビル 5F）
 参加費：無料
 内 容：午前／テーマごとの体験イベント
 午後／エルパーク仙台セミナーホールに集合してフォーラム

【イベント内容】

テーマ	担当実行委員または協力団体	内容
山	深野稔生氏（MELON 理事）	“山”を感じてみよう！ワークショップ in 蕃山
里	NPO 法人まちづくり政策フォーラム	里の魅力・再発見！坪沼に行ってみよう！
海	木村美智子氏（東北文化学園大学講師・MELON 評議員）	七北田川から太平洋にのぞむ！
空	RNECS（ルネックス：東北大学生を中心とする環境サークル）	空を見上げたくなる時間
子ども	関口怜子氏（ゆいもりネット）	目からウロコの匂当台公園 ～kids 編～

詳細は同封のチラシをご覧ください。

<Index>

- P1. 10 周年記念企画のご案内
- P2-3. 仙台スタジアムごみ減量大作戦プロジェクト
- P4. 省エネ普及事業
- かんきょう読み聞かせ
- P5. 市民講座 青葉山を学ぼう＆歩こう
- 市民講座 田んぼの学校
- P6. ストップ温暖化センターみやぎ「通信」
- P7. ゆのはら山の学校
- 石巻「環境フェア 2003」
- P8. 新入会員紹介
- 新コーナーのご案内
- 編集後記
- 会員状況



特集

仙台スタジアムごみ減量大作戦！

今年、MELON はベガルタ仙台およびベガルタ仙台・ボランティア・ネットワーク（略称 VVN）と協力し、仙台スタジアムで行われるベガルタ仙台のホームゲームで排出されるごみの削減と減量システム作りを目指し、活動を始めています！

基礎調査は 3 月 15 日のナビスコカップ・柏レイソル戦から開始！スタジアム内のごみの排出・処理の流れや、ごみ袋の数、ごみの内容調査を実施しました。その結果、ごみの分別表示が不十分であることや人の流れとごみ袋の設置場所のミスマッチが見えてきたほか、ごみの中身はコップ類と弁当容器類が全体の約 6 割を占めることがわかりました。

そこで、まずスタジアムでごみの“かさ”を減らすことからスタート！3 月 23 日の試合で 608 袋排出されたごみ袋数は、右ページの大作戦の結果、7 月 16 日 FC 東京戦（ナビスコカップ予選）では 352 袋となっています。

また、5 月から毎試合時に MELON 手作りの情報ボードを設置、7 月からは「仙スタごみ減量 NEWS」を各ゲートに掲示して、観客のみなさんに協力を呼びかけています。

さらに、MELON の提言もあり、7 月 2 日の試合から「マイカップ制」が導入され、ゴミの“もと”を減らす活動も前進しています。この活動は、仙台市の環境社会実験として認められており、今後、大きな広がり効果が期待されています。みなさんの調査活動へのボランティア参加をお待ちしています。



🏆 🏆 🏆 🏆 🏆 🏆 ボランティア 大募集中！ 🏆 🏆 🏆 🏆 🏆 🏆

ごみの調査活動にご協力いただける方を大募集中！
仙台スタジアムで一緒に汗を流しましょう！

- 📍会場 仙台スタジアム
 - 📍内容 ごみ袋のカウント、実態調査など
 - 📍集合 原則：試合の 3 時間前
(学校や会社のご都合がある方、ご相談ください。)
 - 📍お申込 電話・FAX・mail で MELON 事務局まで。
 - 📍その他・ボランティア保険に加入します。
・お弁当と飲み物ができます。
- <注意> 試合を観戦することはできません。

【今年の今後の調査予定】

調査	日にち	キックオフ	対戦チーム
第 11 回	8 月 24 日(日)	19:00	ヴェissel 神戸
第 12 回	9 月 6 日(土)	19:00	名古屋グランパスエイト
第 13 回	9 月 20 日(土)	19:00	FC 東京
第 14 回	10 月 18 日(土)	16:00	ジェフユナイテッド市原
第 15 回	11 月 16 日(日)	15:00	京都パープルサンガ
第 16 回	11 月 22 日(土)	14:00	横浜 F・マリノス



🏆 仙スタごみ減量大作戦！ホームページ完成！今までの調査の内容や成果はこちらからどうぞ 🏆
URL : <http://www.melon.or.jp/melon/Jversion/Section/stadium/top.htm>

現在進んでいる3つの大作戦

☆分別表示の徹底・袋の貼り方・並べ方大作戦

MELON が作成した分別表示が各ゲートで活躍中。

ゲート側にペットボトルの袋を貼る事により資源の回収率が上昇しました！



スタジアム コンコース

☆コップの分別回収大作戦

1 試合約 7 千個も出るコップごみを重ねることで、ごみ袋は約 70 枚も節約になります。



☆ボランティアさん・警備員さんのお弁当分別大作戦

Before



After

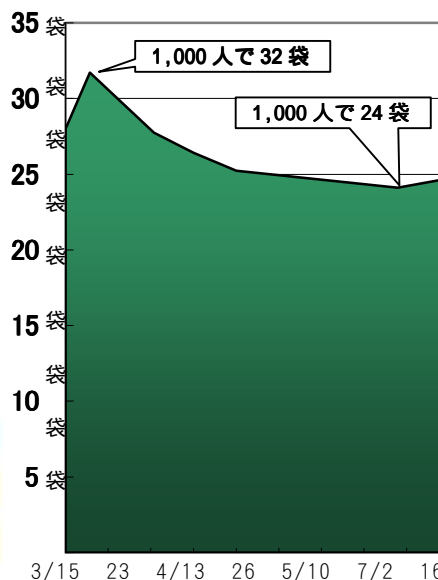
重ねたら 5 分の 1 のかさになり、きりと分別！集められた生ごみは堆肥化実験中。



コップごみをなくそう！『マイカップ制』
7月2日からマイカップ制度が始まっています。ベガルタ特製オリジナルタンブラーを利用すると、スタジアム内で販売されているビールは 100 円引き・その他の飲料は 20 円引きになります。
初日に用意した 3,000 個は試合開始前に完売、次に用意した 4,000 個も 7月16・19日の試合で完売しました。

3月23日大分戦で608袋だったごみ袋が7月16日のFC東京戦では352袋まで減少しています。スタジアムの26ゲート全てで約10袋ずつ減っている計算です。

<観客 1,000 人あたりのごみ袋数>



仙スタ★ごみマニア

TOPICS

スタジアムのゴミ袋1個の処理料は**1袋、185円**です。

<前試合までのごみ処理費用>

3/15 柏戦:	450枚 × 185円 =	83,250円
3/23 大分戦:	608枚 × 185円 =	112,480円
4/13 清水戦:	531枚 × 185円 =	98,235円
4/26 G大阪戦:	496枚 × 185円 =	91,760円
5/10 C大阪戦:	485枚 × 185円 =	89,725円
6/04 キエボ戦:	430枚 × 185円 =	79,550円
7/02 横浜戦:	386枚 × 185円 =	71,410円
7/16 横浜戦:	352枚 × 185円 =	65,120円
8試合総計:	3,738枚 × 185円 =	691,530円



環境に関心を持ってもらうために

MELON では、県民のみなさんの環境への意識を高めることを目的として、環境事業団地球環境基金の助成を受け、「環境家計簿 CD-ROM を活用した省エネ普及事業」を昨年より行っております。現在、環境家計簿モニターとして 467 名の方にご登録いただき、エネルギー使用の実態調査をしています。

これまでも省エネを普及するための講座を開催してきましたが、今年は小学校 5 年生から中学校 3 年生を対象にした、夏休み自由研究応援企画「省エネ博士になるぞ」を開催しました。今子どもたちには家庭での省エネに取り組んでもらっています。今後とも様々な講座などを企画していきたいと考えておりますので、どうぞお楽しみに。

環境家計簿に興味をお持ちの方は、ぜひモニターにご参加ください。年間 6 回、エコライフや省エネの情報を満載したモニター通信をお届けします。ま

た「なぜ省エネが必要?」「省エネ・節約のウラ技が知りたい!」という方は、省エネ普及講座にご参加ください。きっと環境とお財布にやさしいくらしのヒントが見つかるはずです。みなさんにお会いできることを楽しみにお待ちしております。

* 環境家計簿/日々の生活において環境に負荷を与える行動や環境に良い影響を与える行動を記録し、必要に応じて点数化したり、収支決算のように一定期間の集計を行ったりするもの。MELON が作成した環境家計簿は電気・ガス・水道などの毎月の使用量・料金を記録し、二酸化炭素排出量に換算するもの。



戦争は環境破壊の最たるものです。原子爆弾はいうにおよびません。ベトナム戦争の枯れ葉剤散布や最近の劣化ウラン弾など、敵を殺すという目的なら、ありとあらゆる理由のもとに破壊が行われるわけです。「日本が軍隊をもたない」ということは「環境の壊滅(かいめつ)すらゆるされる戦争に参加しない」という意味もふくまれているように思えて、なぜ、砂漠の国々に、その人々の暮らしを支えたり緑を作る NGO、NPO などの人々を送ることを考えずに急いで軍隊を送るのかを、このごろ不思議に思っているわけです。

さて、私たちが環境を考える場合には、私たちの周囲に美しい川や森がそこに「ある」ということのほかに、それらと私たちの「ところ」とのかかわりを大切にしたいのです。いろいろなところでその話をしたり、文章にしたり、歌にしたり。立松和平 作、伊勢英子 絵「山のいのち」(ポプラ社)は自然の中

いのちをはぐくむもの

で育っていく子供たちの「ところ」を詩情豊かに語りかけます。昨今の子どもたちをめぐる喧噪(けんそう)の中、パサついたり、ササクレだった大人の心もどう取り戻していくのか真剣に考えていく必要があるかもしれません。

第2のクンレン:「山はいいなあ」という言葉をそれぞれ違った人になったつもりで話してみましよう。もちろん、語尾はマネをしようとする人などによって変わってもかまいません。

- (1) 前半の5人はあなたの身の回りのある人になっていってみましよう。
- (2) 後半の5人?は樹木や動物、虫などになったつもりで話してみましよう。



報告 セミナー企画プロジェクト

青葉山で地球温暖化の影響発見

6月8日(日)鈴木三男氏(東北大学大学院理学研究科附属植物園教授、園長)を講師に、第1回環境市民講座「青葉山を学ぼう&歩こう」を東北大学の附属植物園で開催しました。大人16人、子ども3人の計19人が参加しました。

講座では「インベーター侵入マップ作り」を行いました。インベーターとは、近年増殖した侵入植物のことで、コウヤマキ、ヒサカキ、ネズミモチ、ヤツデなどがこれにあたります。仙台市内の公園や庭に植えられたそれらの実を鳥が食べ、鳥の休み所となる植物園で糞をして種子が散布され、成長したものです。参加者は4グループに分かれ、チェックリストとメジャーを持ち、園内のインベーターを調査しました。調査後は各班の結果を持ち寄り、報告しました。

鈴木氏は「今後地球温暖化の影響で植物園内がど

のように変化していくか、推移を分析するために記録しておく必要があることからマップ作りを行いました。このような調査を定期的に行うことは貴重な資料になるはず」と話されていました。

今回の調査ではキウイフルーツの木が2本成長していた事がわかり、鈴木先生も驚いていました。



キウイフルーツの木

報告 緑・食部会

生き物たくさん！田んぼの学校

6月28日(土)に「田んぼの学校」を開催しました。今回は田尻町佐々木農場へ、それぞれ同じ時期に伺っていた3団体が一緒に企画をし、田んぼの生き物観察や、HI-SOFT21 通木リサイクルセンター、(株)一ノ蔵本社蔵を見学しました。当日は雨が降っていましたが、2歳と10歳の兄弟、大学生や最高齢78歳の方と、幅広い年代層の方々20名に参加いただきました。

* 3団体/環境保全米ネットワーク(農薬や化学肥料に頼らない米づくりを通して、環境や農地を守ることを目指すNPO法人。一ノ蔵では環境保全米を原料とした商品を製造) 高齢者生活協同組合(いきがい福祉、仕事おこし協同組合) MELON

* HI-SOFT21 通木リサイクルセンター(堆肥センター)/集落内の畜産農家と耕作農家が連携して2003年2月に堆肥発酵槽384㎡と二段ロータリー攪拌機を整えた施設が完成(堆肥は4月から圃場へ投入されている)

参加者からの感想

田んぼには、いっぱいかえるがいて、まだしっぽがついているのもいました。ぼくはヤゴやザリガニがないかなあとと思って、小川をあみですくってみました。1かいだけでザリガニがたくさん取れました。そばを見たらメダカもたくさんいたので、少しびっくりしました。ぼくは小さいザリガニを4ひき家にもってかえりました。それは小さいザリガニを大きくしてみたかったからです。大雨の中いったかがあったなあと思いました。

鎌田新平くん(10歳)



ストップ温暖化センターみやぎ「通信」⑭



私の考えるみやぎの地球温暖化対策・ご意見・アイデア大募集！

この度、みなさんから地球温暖化防止のためのアイデアを募集いたします。「普段こんなことができたら省エネルギーがもっと進むのに」というようなご意見、特に個人の取り組みだけでは変えることができないこと（規制など含む）について、ご提案をお待ちしております。

産業・交通・家庭・オフィス・ごみ・まちづくり・教育、どの分野についてでも結構です。寄せられた

アイデアはホームページ上へ掲載するとともに、MELON が参加している宮城県や仙台市の地域協議会での発言の参考にさせていただきます。また秋頃に、ストップ温暖化センターみやぎ運営委員会を中心とする「地球温暖化対策みやぎモデル策定委員会（仮称）」でまとめる予定です。

詳細やアイデア提出の様式などについては同封のチラシまたは MELON のホームページをご覧ください。



前に一度あった街の明かりを消す、全国一斉ライトダウンの機会を週に 1 回やったらどう？



電球は白熱電球より蛍光灯型電球のほうが長持ちで省エネ。結局お得。



新運営委員体制が決まりました。

6月19日(木)の第2回運営委員会から、5月13日に制定されたストップ温暖化センターみやぎ運営委員会規則にもとづき、理事長から下記の18名が委嘱されました。

(委員Aイイ順敬称略)

委員長	長谷川公一	東北大学大学院教授 MELON 理事
副委員長	岩崎玲子	東北大学学際研究センター職員 MELON 理事
副委員長	門田陽子	社会保険労務士 MELON 理事
委員	伊藤卓雄	会社員 MELON 評議員
委員	木村敏之	東北大学工学研究科修士課程
委員	菅谷匡	みやぎ環境カウンセラー連絡協議会代表
委員	鈴木睦	中学校教諭
委員	須藤諭	東北文化学園大学科学技術学部環境計画工学科助教授
委員	高橋明夫	東北電力宮城支店企画管理部門企画立地環境統括リダー
委員	竹内信男	登米町森林組合参事
委員	西崎友一郎	MELON 評議員
委員	北條祥子	尚絅学院大学教授 MELON 理事
委員	星ひとみ	団体職員、一級建築士 MELON 評議員
委員	三浦秀一	東北芸術工科大学環境デザイン学科助教授
委員	村松勇	仙台市環境局環境部環境都市推進課課長
委員	八木下正夫	(財)省エネルギーセンター東北支部事務局長
委員	山岡講子	NPO 法人環境会議所東北常務理事
委員	渡辺浩文	東北工業大学工学部建築学科助教授

【イベント予告】

脱・二酸化炭素連邦みやぎフォーラム

日時 / 2003年11月8日(土)午後 場所 / せんだいメディアテーク1F

内容 / 家庭で簡単に取り組める省エネなど、地球温暖化防止に向けた取り組み紹介、

省エネや自然エネルギーに関する講演・ワークショップ(参加型学習会)を行う予定です。

お楽しみに。

詳細は事務局南まで。

MELON会員からの寄稿

海藤節生さんからの寄稿*ゆのはら山の学校

6月1日(日)朝からあいにくの雨模様の中、いざ七ヶ宿へ。その日は「ゆのはら山の学校」の入学式でした。近年県内各地で自治体主催の体験型環境教育が行われております。

昨年は角田の農家と直接交渉、1年を通して農村と関わりを持ちながら最後には刈り取った稲を干してしめ縄作りまで教えてもらいました。その一家バリアリの大黒柱でさえ、近代化農業時代に就農したのももちろん手植えは初めて。その時、その話を聞きつけてはりきって登場したのが、おじいちゃん、おばあちゃん達でした。得意そうに昔話をしながら熱心に指導してくれた表情は、突然現役に戻った極上の笑みだったように感じました。

いろんなまちに様々な歴史と文化があり、人が生きている。そこに外向いていって私達が教わることは、そのまちの過去を、そしてこれからの未来をそ

こに住む人々がもう一度考える良い機会だと思います。今年は、もうちょっとゆっくり土と触れあいたいと思い、同級生達家族と入学しました。雨にも関わらず一生懸命お世話頂きありがとうございました。いつのまにか子ども達が始めたハンカチ(ほうの葉)落とし、何十年ぶりかとっても楽しい一日でした。七ヶ宿のみなさん1年間よろしく願いいたします。

【カリキュラム一覧】

- 第1回目 田植え・山菜取り
- 第2回目 田んぼの除草・川遊び・森林散策
(宿泊) 昆虫採集
- 第3回目 稲刈り・大根掘り
- 第4回目 そば打ち・グランドゴルフ
- 第5回目 餅つき・雪下ろし体験



みやぎ生協環境グループ「サムシング」 三浦エミ子さんからの寄稿*環境フェア

石巻市の「環境フェア 2003」が6月22日、文化センターで開催されました。9回目となった今年のテーマは「できることからはじめよう」。

みやぎ生協石巻地区こ～ぷ委員会・MELONの共催で、講師に門田陽子さんをお迎えしてのミニ講座「目！からウロコの省エネ茶ばなし！」はこのテーマにぴったり。私たち一人ひとりが毎日の暮らしの中でできること～そんなことなら私もできる～と思うことがたくさんありました。

待機電力を90%削減することで一世帯当たり年間約87kgCO₂を削減、6,000円節約できるなんて驚き！主電源を切る、長時間使用しない時はプラグを抜く、ちょっとした心がけでこんなに大きな数字になるのですから楽しみながらできそうです。自分の暮らしを見直し、環境家計簿もしっかりつけてみようと思いました。

ミニ講座の他にフリーマーケット・古紙利用の手すき紙作り・アクリル毛糸のハンディモップ作り・北上川の水質チェック・お手玉作り・ゲームコー

ナー等大人も子どもも楽しく学び、体験し、環境問題を身近に感じた一日でした。



他団体からの活動のお知らせ

詳細は各団体にお問い合わせください。

びいなすふぁあむ	8/9(土)暮らしの森を創ろう -人と木と森をつなぐライフスタイルの提案 - 講演&農園管理研修会 要申込み 10:00~16:00 参加費 1,000円 場所/川崎町びいなすふぁあむ TEL 0224-84-4911 FAX 0224-84-4911 びいなすふぁあむ
宮城県森林 インストラクター 協会	「みやぎもりもり教室」 場所/県民の森中央記念館 8/10(日)夏休み工作教室 Part 1 8/17(日)コンパスを使いこなそう 8/24(日)夏休み工作教室 Part 2 8/31(日)けんぞーのきのご観察会 9/7(日)ネイチャークラフト 9/14(日)化石探検 9/21(日)四季の森下刈り作業 9/28(日)けんぞーのきのご観察会 TEL 090-1936-0606 宮城県森林インストラクター事務局
みやぎ・せんだい こどもエコクラブ ネットワーク	8/16(土)こどもエコクラブ・夏休み勉強会 時間未定 場所/みやぎ NPO プラザ TEL 022-262-2731 FAX 022-262-2731 サイカチネイチャークラブ
青葉山の緑を 守る会	9/14(日)定例青葉山観察会(100回)&トトロかんさつ会(81回) 10:30~ TEL 022-229-4196 植村千枝

新会員のご紹介

敬称略

佐々木直英(登米郡中田町) 山本豊(仙台市)
鈴木俊康(塩竈市) 伊藤道子(仙台市)
佐山克巳(仙台市) 田代光洋(仙台市)
小山京(仙台市) 宿野部葵(仙台市)
海藤節生(仙台市)
菊地重雄(柴田郡川崎町)
大宮司寛(松島町)



2003.5.1 ~ 6.30

情報紙に関するお知らせ

今回から新しいコーナーを設けました！
MELON 会員のみなさんに、地域で取り組んでいる、或いは自分が参加した環境活動についての情報を寄稿してもらうコーナーです。

原稿のみ、写真のみでも受け付けます。みなさんの身近なところで行っている活動を、情報紙で紹介しませんか？

ご連絡お待ちしております。

情報センター 鈴木



会員状況

合計	1,049
法人	125
任意団体	20
個人	904
(2003年7月1日現在)	



春先に植えたミニトマトを収穫し庭から食卓へ、家族からも「おいしいね。」と言われ、早く赤くなれとトマトに期待をしている私です。

《松倉》

先日思いがけず、仕事で今は亡き祖父の生まれ故郷を訪れる機会に恵まれました。残念ながら、祖父から故郷について話を聞く機会がなかったため、祖父と風景を重ねることができませんでした。特に子どもころどこで・どんなことをして遊んでいたのか聞いておけばよかったなと考えながら、車の中から外の緑豊かな風景を眺めていました。

《星》

編集後記

こうすけ君が大切に育てた『命の朝顔』。小さな種が全国にひろがって命の大切さをつたえてくれています。今年もたくさん花が咲いて種がいっぱいできますように。MELON の活動を通して幸せの種まきもできるといいですね。 《三浦》

米国の貧しい地域の一角の、生ゴミや古タイヤが捨てられた空き地に、ある少女がマメを蒔く。それがきっかけで年も人種も境遇も様々な人が勝手に色々な種を蒔く。やがてゴミは消え、瑞々しい菜園が。その時にはみんな仲間になっていた。見ているだけの人も含めて。...ふと、以前に読んだそんな物語を思い出しました。 《鈴木》

発行元 財団法人 みやぎ・環境とくらし・ネットワーク(MELON)

〒981-0933 仙台市青葉区柏木1 2 45 フォレスト仙台5F

事務局 Tel022-276-5118 Fax022-276-5160

情報センター Tel022-301-9146 Fax022-219-5710

ストップ温暖化センターみやぎ Tel022-301-9145 Fax022-219-5710

ホームページ <http://www.melon.or.jp/melon/> E-mail melon@cir.tohoku.ac.jp

MELON 情報紙は古紙 100%の再生紙を使用しています。